

Course number		U-LAS40 20001 LJ26					
Course title (and course title in English)		精神病理学Ⅰ Psychopathology I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, Masamichi Ueo	
Group		Health and Sports		Field(Classification)		Health and Sports Sciences(Development)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Tue.4		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
精神疾患は、厳密科学的には生物学的実体として捉えるべきものとされるが、実際は極めて人間的な現象であり、当然ながら罹患者以外をも含む集合的な生活空間の中で輪郭を与えられ、意味を決定されているものである。そうした側面を明らかにするために、講義では、近代精神医学の制度／概念についての歴史的な展開を追いながら、精神疾患を説明するためにどのような知識・学問が動員されてきたか、どのような社会的・文化的条件が働いているのか、思想や芸術への影響をどのように考えられるか、といった問いについて考えていく。医学的に直ちに有用な説明体系を学ぶのではなく、むしろ精神病理に関する知と実践についてのクリティカルな思考を鍛える事を目指す。							
[Course objectives]							
・近代の精神医療の歴史についての基本的知識を身につける。 ・精神病理を広く社会・制度・思想・文化との関連から考察できるようになる。							
[Course schedule and contents]							
1．導入：精神疾患と社会 2．近代精神医学の興り：狂気の医学 3．大ヒステリー 1．催眠の時代 4．大ヒステリー 2．暗示と心理療法 5．変質論と異常者たち 6．神経症の時代 1．フロイト「ヒステリー研究」 7．神経症の時代 2．強迫神経症と心的葛藤 8．神経症の時代 3．戦争神経症と自我分裂 9．精神異常の心理学 異常心理学の発展 10．スキゾフレニー 1．解離というパラダイム 11．スキゾフレニー 2．精神薬理／反精神医学／地域医療 12．人格障害／境界例 13．DSM-III以後の精神病理 14．神経科学と人間 15．総括：現代の狂気							
Continue to 精神病理学Ⅰ (2) ↓ ↓ ↓							

精神病理学Ⅰ(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業内の小レポート（25点×2回）及び期末のレポート（50点）による。
各レポートは課題に応じた到達目標の達成度に即して評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業前に前回の講義内容について復習しておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]